

特許インフォグラフィックス： 科学技術をわかりやすく伝えるモーショングラフィックス技術

芸術系 助教 村上 史明

芸術系では、複雑な情報やデータを視覚的に表現したインフォグラフィックスと呼ばれる動画を制作。4つの特徴を有したモーショングラフィックス(アニメーション)技法を使用し、専門用語を用いずに科学技術を伝えるコンテンツを開発した。

■背景

筑波大学が所有する特許技術を学外の企業に興味を持っていただくことを目的として、モーショングラフィックス技術が採用された。特許の存在を企業に知ってもらい、実際に利用してもらう。実際に活用につけていくためには、まず、特許＝専門用語が多い、難しいというイメージを覆す必要があった。幼い頃から慣れ親しんでいるアニメーション技術を用いることで、動画に対する敷居が低くなり、気軽に視聴してもらえることが予想された。

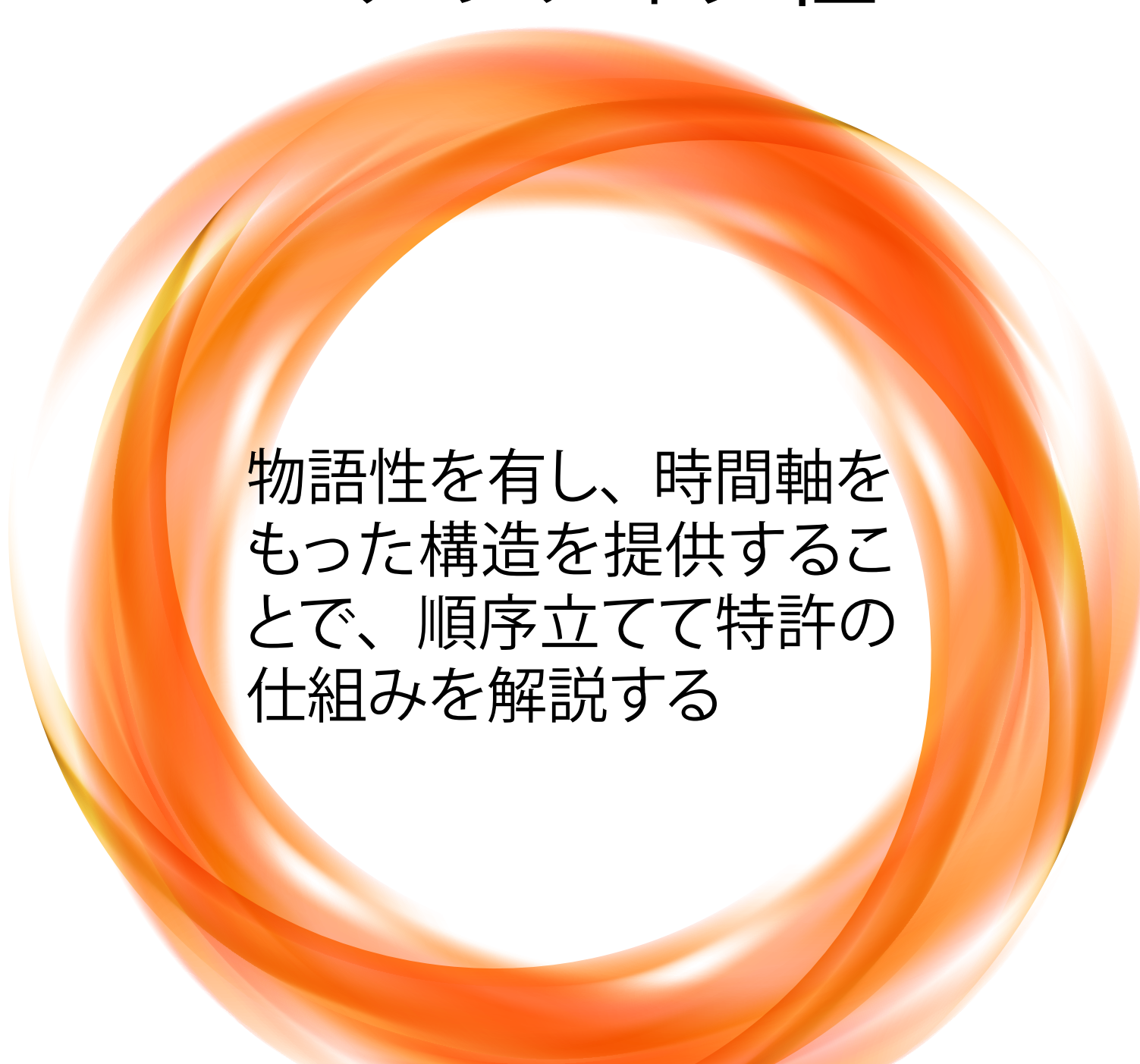
特許インフォグラフィックスにおける4つの特徴

1. エンターテインメント性



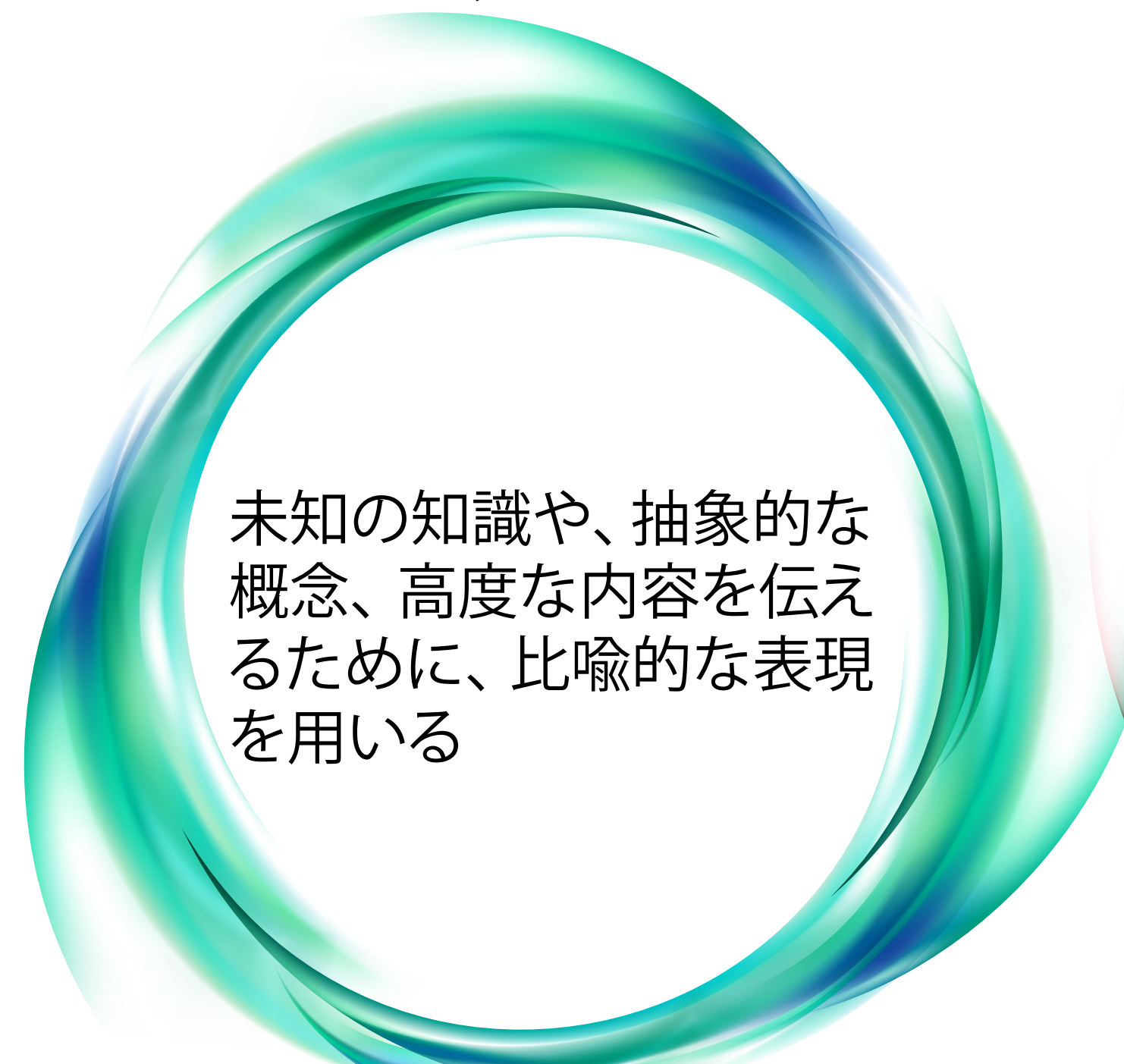
楽しさや面白さなどの感情を誘発し、よりコンテンツに没入出来る仕組み

2. ナラティブ性



物語性を有し、時間軸をもった構造を提供することで、順序立てて特許の仕組みを解説する

3. メタファー



未知の知識や、抽象的な概念、高度な内容を伝えるために、比喩的な表現を用いる

4. 情報メディアへの展開



Youtube やウェブサイトなどを通じて、多くのユーザーにアピールすることが可能

芸術の技法を用いると、専門家だけではなく
より多くのユーザーに特許の内容を伝えることが可能となる



■事例

太陽光を利用した光触媒による飲料水浄化
美しくしなやかに動画超解像
ヒト胃消化シミュレーター
超低価格小型人工衛星
敗血症の予防治療薬
赤外線リモコンを使った屋内測位
あらゆる悪環境下で精密かつ安全に飛行可能な UAV の開発とその大規模農業支援への応用
湿式微細化 MicroMilling 技術の応用
可視光で抗菌ができる光触媒材料
装着型嚙下能力計測技術
導電性ポリアニリン
微小参照電極デバイス
メタバやサルコペニアを予防する発酵茶から抽出する高分子ポリフェノール MAF
いまだ培養されていない自然界の99%の微生物を培養できる新たな培養プレート

Difference

専門用語が多く、複雑な情報やデータを有した特許をモーショングラフィックス技術を用いることで理解が容易になり、より多くのユーザーに情報を伝えることが可能となる。特許だけではなく他の科学・工学技術の解説にも転用の可能性がある。